

片頭痛の予防薬について

片頭痛の薬物療法では発作を鎮める急性期の治療と発作予防の治療に大別されます。片頭痛発作が月に2回以上、あるいは生活に支障をきたす頭痛が月に3回以上ある患者では予防治療の実施について検討してみることが勧められています。以下に片頭痛の予防に用いられる薬物の中からいくつかを表でまとめてみます。

薬剤	副作用の頻度	推奨の強さ	推奨用量	自己負担額 ※3割負担かつ 1ヶ月あたりで計算
抗CGRP抗体製剤 ガルカネズマブ (注射) (商品名:エムガルディ)	まれ	強い	120mg/月 (初回のみ240mg)	12,791円
フレマネマブ (注射) (商品名:アジョビ)	まれ	強い	225mg/4週または 675mg/12週	11,719円
抗CGRP受容体抗体製剤 エレヌマブ (注射) (商品名:アイモビーグ)	まれ	強い	70mg/4週	11,694円
抗てんかん薬 バルプロ酸 (商品名:セレニカ)	時々～頻繁	強い	400～600mg/日	169.7円(400mg/日) 254.5円(600mg/日)*1
トピラマート**	時々～頻繁	強い	50～200mg/日	
ガバペンチン**	時々～頻繁	弱い		
レベチラセタム**	時々～頻繁	弱い		
抗うつ薬 アミトリプチリン* (商品名:トリプタノール)	頻繁	強い	10～60mg/日	82.3円(10mg/日) 493.9円(60mg/日)*2
β遮断薬 プロプラノロール (商品名:インデラル)	まれ～時々	強い	20～60mg/日	169.7円(20mg/日) 509.0円(60mg/日)*3
メトプロロール**	まれ～時々	強い	40～120mg/日	
Ca拮抗薬 ロメリジン	まれ	弱い	10～20mg/日	
ベラパミル*	まれ～時々	弱い	80～240mg/日	107.5円(80mg/日) 322.6円(240mg/日)*4
ARB/ACE阻害薬 カンデサルタン**	まれ	弱い	8～12mg/日	
リシノプリル**	時々	弱い	5～20mg/日	
その他 チザニジン**	まれ	弱い		

「頭痛の診療のガイドライン2024」
197-198ページ掲載の表を参考に
一部改変したものです

* 保険診療における片頭痛に対する適応外使用が認められているもの ** 保険適用外のもの
…院内採用で適用内・外で使用が認められているもの

*1 バルプロ酸ナトリウム徐放錠A200mg「トーフ」で計算 *2 トリプタノール錠10で計算

*3 インデラル錠10mgで計算 *4 ベラパミル塩酸塩錠40mg「タイヨー」で計算 ※薬価の計算は当院採用品で算出

抗CGRP抗体製剤および抗CGRP受容体抗体製剤は、ひと月に1回ないしは3か月に1回の注射で効果を持続させますが、薬価が経口薬に比べて高いことがデメリットとして挙げられます。一方、表にまとめたその他の予防薬は経口薬であり、薬価が先の注射薬に比べ抑えられていることがメリットとなりますが、その他の経口薬との相互作用が問題となることもあります。

患者様の経済事情や内服状況など鑑みて、適切な予防薬の選択ができれば理想的ですね。